

みずほCustomer Desk Report 2017/11/22 号(As of 2017/11/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.66 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.55	1.1737	132.12	0.9930	1.3243	0.7554
SYD-NY High	112.70	1.1758	132.27	0.9947	1.3267	0.7591
SYD-NY Low	112.17	1.1713	131.59	0.9900	1.3211	0.7532
NY 5:00 PM	112.43	1.1738	132.03	0.9915	1.3238	0.7578
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.015/8.37		△25RR	0.810	Yen Call Over	
NY DOW	23,590.83	160.50	債券市場	日本2年債	-0.1960	0.2bp
NASDAQ	6,862.48	71.76		日本10年債	0.0330	▲0.5bp
S&P	2,599.03	16.89		米国2年債	1.7715	2.1bp
日経平均	22,416.48	154.72		米国5年債	2.0986	0.7bp
TOPIX	1,771.13	11.48		米国10年債	2.3559	▲1.1bp
シカゴ日経先物	22,670.00	205.00		独10年債	0.3510	▲1.2bp
ロンドンFT	7,411.34	21.88		英10年債	1.2740	▲1.8bp
DAX	13,167.54	108.88		豪10年債	2.5480	0.5bp
ハンセン指数	29,818.07	557.76		為替市況	USD/CNH	6.6271 ▲0.0200
上海総合	3,410.50	18.10		ドルインデックス	93.99	▲0.09
USDJPY 3M Vol	8.18	▲0.05%	商品市況	CRB指数	189.829	0.62
USDJPY 6M Vol	8.77	▲0.10%		NY金	1,280.10	4.80
EURJPY 3M Vol	7.70	▲0.05%		WTI	57.10	0.68
EURJPY 6M Vol	8.65	▲0.10%		Dubai Spot	60.47	0.23

東京	東京時間のドル円相場は112.55レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎ日経平均株価が前日比プラスで寄り付き上昇幅を拡大する展開となるとドル円も連れ高となり一時112.70まで上昇。しかし、その後日経平均株価が伸び悩み展開となるとドル円も水準を下げ、112円台半ばでの狭いレンジ内での推移が継続。結局、112.51レベルで海外へ渡った。また、豪ドルは対ドルで0.7554レベルで東京時間オープン。RBA議事要旨において資金やインルの上昇ペースについて「相対的な不透明感」があると指摘されたことが明らかになったこと等から豪ドル売りが進み、対ドルで約5ヶ月ぶりとなる安値水準となる一時0.7532まで下落。その後も上値重く推移し、0.7544レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.51レベルでオープン。米感謝祭を控えて薄商いの中、動意に乏しい展開となり112.59レベルでNYに渡った。1-ドルは1.1745レベルでオープン。ECB関係者の「量的緩和終了に向かう中でカインズの文言を一度に大きく変更することはせず、小刻みに変更を加えていくだろう」との発言が伝わったことや、連立協議決裂を受けてメルケル独首相が再選挙の構えを示唆したことが嫌気され、1.1713まで売られ、1.1715レベルでNYに渡った。(ロンドン-プリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は材料難の中、112円台後半で方向感なく推移し、112.59レベルでNYオープン。感謝祭を控え、一段と流動性が低下するなか、海外時間からのドル売りの流れや、米長期金利が低下する動きに、ドル円は海外時間リポートされていた112.40レベルを下抜け、短期筋のストップを巻き込みながら安値112.17まで下落。しかし、高値で寄り付いた米株が一段と上げ幅を拡大する動きや、米10月中古住宅販売件数が市場予想を大幅に上回り2ヶ月連続で増加したことを受け、米金利と共にドル円も反発。S&P500種が初の2600超えを達成するなど、米株主要3指数いずれも史上最高値を更新する動きに、ドル円も下落幅を縮小し112.52まで回復した。NY終盤は材料難のなか、いずれのマーケットも様子見モードとなり、112.43レベルでクローズ。一方、1.1715レベルでオープンしたユーロドルは、ドル売り地合いのなか1.1744まで上昇。良好な米指標を受けたドル買いに1.1724まで下落する局面もみられたが、すぐに切り返し1.1751まで上昇し、1.1738レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月21日	09:30	豪 RBA議事要旨	-	-
	18:05	豪 ロウRBA総裁 講演	-	-
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	10月 0.65	0.20
11月22日	00:00	米 中古住宅販売件数	10月 5.48M	5.40M

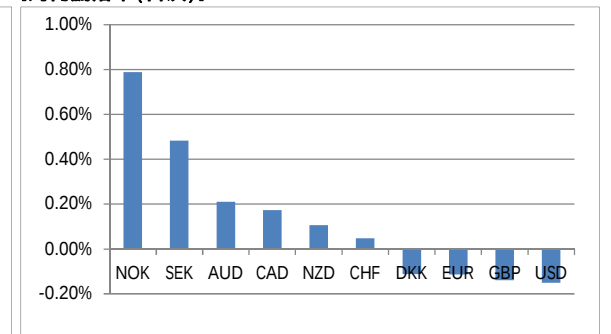
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月22日	08:00	米 イエレンFRB議長 講演	-	-
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	249K
	22:30	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・速報	10月 0.3%/0.5%	2.0%/0.7%
11月23日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド 確報	11月 98	97.8
	00:00	欧 消費者信頼感	11月 -0.8	-1.0
	04:00	米 FOMC議事要旨	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-112.90	1.1700-1.1790	131.60-132.60

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は方向感に欠ける推移となった。米金利の低下や祝日を前にしてポジション調整が強まったこと等から112円台前半まで下落する局面もあったが、米株が史上最高値を更新する動きにサポートされ再び112円台半ばを回復。その後は材料難の中、様子見ムードとなり動意に乏しいとなった。本日のドル円相場は狭いレンジ内の中で上値の重さが意識される展開を予想。昨日は世界的に株高が進行する展開となったものの、ドル円の上昇は限定的。基本的には翌日の日米祝日を控えて動きづらく、狭いレンジ内での推移に終始すると考えているが、米税制改革案や独連立協議に対する不透明感が意識される中では上値の重さが意識されやすい展開を予想する。